
シュナイダー戦記

ゆりか

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シユナイダー 戦記

【Zコード】

N9144N

【作者名】

ゆりか

【あらすじ】

はるか昔、人は皆魔法が使えた。

東では群雄割拠の戦国時代に突入していた。

その小国で一人の男が生まれた。

男の名はシユナイダー。

シユナイダーの物語が幕をあける。

プロローグ

「離せ！離せ離せ！」

王が座る玉座の前で捕縛されている男はもがいている。

王は言った。

「もう一度だけチャンスをやろう。我に使えるがよ。」

「誰が！！お前などに仕えたら後世まで悪政轟こう。殺せー！」

「…わかった。お前の望みどおりにしてやろう。」

親衛隊が捕縛された男を連れて行こうとしたその時横にいた兵が王の前に出てきて直訴した。

「聰明なるわが君！この男を殺せば、世間はあなたを魔王と見なすでしょう。どうか…どうかこの男の命だけは許してやって下さい。構わん。世界が我の敵になろうが世界を滅ぼせばいいことだらう…おい！」の兵もろとも死刑にした。

「…いつかあなたは後悔なさるでしょう。」

兵は親衛隊に連れて行かれる前にそう呟いた。

王の名はショナイダーと言った。

アッサム川の合戦

シユナイダー率いるラサーム国は人口3万人の小国である。ラサーム国は東西南北強国に囲まれている。シユナイダーの狙いはまず、東にあるマレー国人口40万人の都市である。

ラサーム軍対マレー軍の戦が始まった。

ラサーム軍がマレー国東のアッサム川に進行した。マレー軍は兵力4000でラサーム軍撃退の体制をとつた。マレー軍の総大将はゴサという。マレー国では最年少で総大将になつた魔道士である。

待機中、副将がゴサに向かつて話しかけた。

「しかし、南のコーランとの戦で忙しい時にこんな小国と戦を任されるとは、我々はついていないですね…」

「いや…油断していると足元を救われかねんぞ。どんな時でも全力を持つて応対してこそマレー国魔道士だぞ。」

副将はこのゴサの言葉に万に負けはないと直感した。

副将は30年も戦をしていた。有利な時も手痛い失敗もあった。ただ、そういう時は必ず大将は油断していた。

あたりは霧に包まってきた。

マレー軍はアッサム川前に陣取つてはいる時、ラサーム軍が現れた。ラサーム軍は500人の人数で正面から突入して来た。両軍が入りまじり、戦争が始まつた。

ゴサはラサーム軍の500人を取り囲み、多人数で一人を相手にさせた。

案の定500人の魔術師はどんどんやられていった。

しかし、何かがおかしいとゴサは思った。

500人の魔術師が全然減らない…倒してはいる。倒してはいるのだが…

魔法を多用し、兵はどんどん疲弊していった。

やがて、霧が明けると500人の魔術師は瞬く間に姿を消していた。そして、剣と鎧を持ち、馬に乗った兵隊が1000人が目の前にいた。

兵隊は王シュナイダーの合図で一斉に敵軍に突入した。

4000人の魔術師は疲労と焦りから瞬く間に混乱状態に陥った。

ゴサは事態を開きしようとシュナイダーの首を狙つた。

ゴサはマレー国で一番の魔術師で自分より強いものを見たことがなかった。

シュナイダーへの奇襲は成功しどう事態を收拾するか…それだけを考えていた。

そして、シュナイダーの前に立ち、呪文を唱えた。

それが、ゴサの最後の姿だった…

ゴサの姿がなくなり、敵軍が霧散した。

これが、アッサム川の合戦である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9144n/>

シュナイダー戦記

2010年10月11日03時36分発行